

## 平成 24 年度宮城県環境影響評価マニュアルの改訂について

- 環境保全措置・事後調査 -

### 1 これまでのマニュアル策定状況

年度	環境影響評価マニュアル名	備考
H 1 1	宮城県環境影響評価マニュアル	
H 1 3	動物・植物・生態系	
H 1 4	公害質（大気汚染・水質汚濁・騒音・振動など）	
H 1 5	事後調査	冊子としては一体
H 1 6	人と自然との豊かな触れ合い・環境負荷分野	
H 1 7	環境保全措置	
H 1 8	方法書	
H 1 9	準備書・評価書	
H 2 0	動物・植物・生態系	
H 2 1	大気・水・土壌その他の環境	
H 2 2	人と自然との豊かな触れ合い・環境負荷分野	
H 2 3	震災により休止	
H 2 4	<b>環境保全措置・事後調査</b>	

平成 19 年に条例施行規則及び技術指針の改正が行われており、平成 18 年改訂の方法書から反映・対応されている。

現在、7 冊のマニュアルで運用されている。

### 2 平成 24 年度改訂内容

#### (1) 改訂する分野

事後調査  
環境保全措置 } 1 つの冊子とする

#### (2) 主な改訂点

H19 環境影響評価条例施行規則の改正に係る対応

H19 環境影響評価技術指針の改正に係る対応

その他、最新の科学的・技術的知見、他自治体における実態等を把握し、マニュアルへ反映させる。

#### (3) 改訂スケジュール

時期	内容
6月	環境影響評価マニュアル検討部会委員選定（技術審査会会長が指名）
6～8月	環境影響評価マニュアル素案作成 <u>委託</u>
9月	第1回環境影響評価マニュアル検討部会開催 ・ 検討部会設置の主旨と作業スケジュールの説明 ・ 調査内容の確認及び見直しの方針 ・ 素案の説明と意見聴取
10月	素案の修正（修正案の作成） <u>委託</u>
12月	第2回環境影響評価マニュアル検討部会開催 ・ 修正案の説明
H25年1月	修正案の再修正（改訂原案の作成） <u>委託</u>
2月	印刷発注

### 3 宮城県環境影響評価マニュアル検討部会委員の指名について

「環境影響評価技術審査会の運営に関する規定」の第5条第1項に基づき、技術審査会は必要に応じて部会を置くことができ、部会の属すべき委員及び専門委員は、技術審査会の委員及び専門委員の中から会長が指名する規定となっている。

**【環境影響評価技術審査会の運営に関する規程】**

(部会)

第5条 技術審査会は、所掌事務を調査審議させるため、必要に応じ、部会を置くことができる。

2 部会に属すべき委員及び専門委員は、技術審査会の委員及び専門委員の中から会長が指名する。

[参考]平成15年度「事後調査」改訂時の検討部会委員名簿

氏名	所属	専門分野
菊地 永祐	東北大学東北アジア研究センター 教授	動物(全般)
佐上 郁子	東北大学多元物質科学研究所 講師	悪臭・大気質・ 水質 (化学物質)・土壌汚染
長谷川信夫	東北学院大学工学部 教授	水質(水質汚濁)
平吹 喜彦	宮城教育大学教育学部 教授	植物(植生)・生態系(植物生態)
松山 正将	東北工業大学工学部 助教授	景観

50音順

[参考]平成17年度「環境保全措置」改訂時の検討部会委員名簿

氏名	所属	専門分野
根本 智行	石巻専修大学理工学部 教授	植物(植物相・植物分類)
長谷川信夫	東北学院大学工学部 教授	水質(水質汚濁)
松山 正将	東北工業大学工学部 助教授	景観
由井 正敏	岩手県立大学総合政策学部 教授	動物(猛禽類) 生態系(全般, 動物生態)

50音順